

寒い日が続きますが皆様お元気でしょうか？
あとわずかで今年も終わりになります。
いよいよ令和5年が始まりますね！
どんな年になるのでしょうか？



さて、先月号では、頸椎の話をしました。
首や肩、肩甲骨、腕、指・・・しびれや痛みがある方、多いと思います。少し理解できたでしょうか？

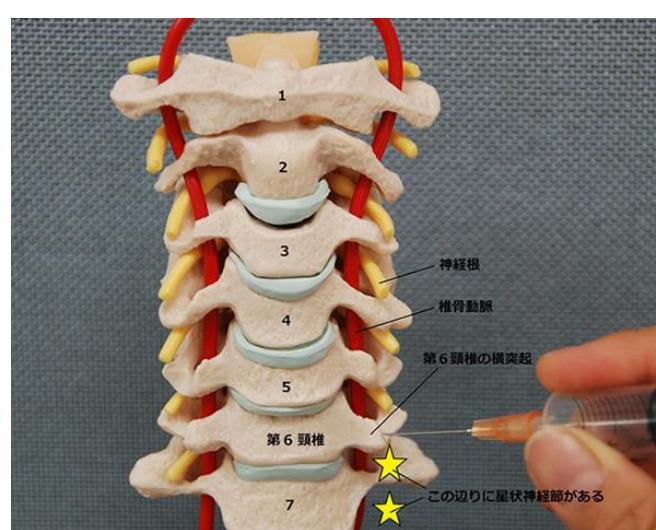


頸椎の疾患は、頸椎椎間板ヘルニア、頸部脊柱管狭窄症、変形性頸椎症、後縦靭帯骨化症などがあります。

これらの疾患に対する治療法は様々ですが基本的には、血流をよくすることが目的になります。

よく行う神経ブロック治療としては、星状神経節ブロックがあります。

星状神経節ブロックとは、首の前にある星状神経節（交感神経）に局所麻酔薬を注射することによって、神経を遮断し、交感神経の緊張を緩めます。その結果、血管が拡張し、血流がよくなることで、痛みやしびれを改善する効果が期待できます。当院では、エコーを使って周りの血管を確認しながら安全に注射しています。



星状神経節ブロックは色々な疾患に効果があります。

バージャー病や閉塞性動脈硬化症という血流が悪くなつて手が冷たくなる病気や、メニエール病や頭痛、顔面神経麻痺、帯状疱疹後神経痛、五十肩など、様々な疾患に効果が見られます。花粉症にも効果があります。

この注射を基本的には最低10回ほど毎週続けます。すぐには効果が出ない場合も多いですが、だんだんよくなつてくる注射です。

首に注射というと、とても怖がる方が多いですが、一番細い針でしますので、ほとん

ど痛みはありません。5分ほど自分で押さえてもらって、30分ほど休んでいただきます。たまにふらつくときがありますので、お帰りの時は気を付けてください。

その他、いろいろな注射の方法を利用しながら痛みを取っていきます。